

## 最優秀賞

### 廿日市市 『広報はつかいち』 (平成 31 年1月号)



■担当課: 経営政策課 ■連絡先: 0829(30)9121

#### 【担当者より(掲載意図)】

世界的な観光地、宮島を有する本市には、世界中から年間 400 万人を超える観光客が訪れます。12 月の宮島にニュージーランドから観光に来ていた一家を撮影させていただきました。

宮島で着付け・茶道・書道を体験した一家に同行する中、一番印象的だったのは、書道の体験をする様子でした。「好きな言葉は何ですか」という先生の問いに、すぐに「LOVE」と答え、先生が作ったお手本を元に一筆一筆思いを込めながら「愛」と書き上げる様子を、カメラにおさめました。新年号として、めでたい印象になるよう、赤や黄色が見えるアングルから撮影し、「愛」と丁寧に書く写真を表紙に選びました。

#### ＝講 評＝

- 海外の方が凛とした着物姿で書道をたしなまれている、印象的な写真。1月号なのでおめでたい色合いを意識したという点も素晴らしい。廿日市ならではの伝わる。
- 宮島を訪れる観光客の多さ、新年を祝う書初め、真摯に向かうニュージーランドからの旅行者の姿、そして書かれている「愛」の文字。すべての要素が絡み合い、極めて完成度の高い表現となっている。
- 明るさもちょうどよく、収まりが良い。
- 習字の愛とかけたキャプションが粋だと感じる。写真の寂しい箇所にキャプションを入れるレイアウトもバランスが良い。

## 優秀賞

### 大崎上島町 『広報大崎上島』 (令和元年9月号)

■担当課: 総務企画課 ■連絡先: 0846(65)3112



#### 【担当者より(掲載意図)】

大崎上島町は7月から8月の間に3つの夏祭りが開催されます。写真は、その3つのお祭りの内の1つ「木江十七夜祭」の最後に行われる花火大会の一コマです。この花火大会は、約 5000 発の海上花火が打ち上げられる町内最大級の花火大会。夏の風物詩を楽しもうと、島中からたくさん見物客が訪れます。

そしてこの花火大会の特徴はなんといっても打ち上げられる花火と見物客との距離の近さです。少し高い位置から撮影し、海上花火と見物客両方を 1 枚に収めることで、この花火大会の“らしさ”を表現しました。

#### ＝講 評＝

- 綺麗に広がる花火のイメージと、たくさん写る見物客の姿は、「みんなで作るまち」というコピーのイメージとも合致しており、夏の一枚として広報紙に相応しい表現となっていた。
- 花火と客との距離感が伝わり、意図していることがきちんと表現されている。海、人、花火のバランスもよい。
- 手前の人物も表現され、海に浮かぶ様子などをうまく写し込んでいる。

## 最優秀賞

### 大竹市 『広報おおたけ』（令和元年12月号）

■担当課：企画財政課 ■連絡先：0827(59)2125



#### 【担当者より(掲載意図)】

10月中旬に催される「大竹祭」。そこに集う人々の活気ある姿と表情を伝えるようにしました。昨年はモノクロページだったため、赤、黒、白という色の持つ印象が希薄だったように感じ、カラーページを使ってみました。また、それらの色が強調されるように、下地の色も黒としてみました。

広角レンズを使い、できるだけ被写体に近づいて撮影し、臨場感が出るようにしてみました。ただ、もう少し大胆なカットがあってもよかったかなと感じています。

#### ＝講評＝

- 「赤」が差し色となり、お祭りの躍動感や人の熱気が伝わる写真となっている。
- とにかく写真がとても良い。祭りの賑わいや神輿を担ぐ男たち、女たちの真剣な表情がきちんと収められている。太鼓を背後から撮影したりなどの工夫もとても良い。
- 見開きのページの中央に向かって左右から勢いを感じさせるようにレイアウトされており、写真の配置については高い完成度が見られた。白と赤の色の使い方も良かった。

## 優秀賞

### 廿日市市 『広報はつかいち』（令和元年8月号）

■担当課：経営政策課 ■連絡先：0829(30)9121



#### 【担当者より(掲載意図)】

今年で13回目の開催となった「はつかいち縦断みやま国際パワートライアスロン大会 2019」。過酷なレースの様子が伝わる写真を、と撮影していましたが、多くの人が手を叩いて声援を送る様子、苦しい表情が一転して笑顔で声援に応える選手たち、給水を渡しながらエールを送るなど、人の温かさやつながりを感じる光景を多く目にしました。観る人を感動させる選手たちの挑戦を、見開き写真で表現しました。

#### ＝講評＝

- モノクロでもそれぞれの写真に力があり、バラエティに富んでいるので全体として厚みのあるストーリーを構成することができる。
- 選手の気迫を感じる一枚から心温まる瞬間まで、その一瞬一瞬を逃さず撮影できている。スイムの水しぶきなどはとても臨場感のある一枚。
- 迫力ある写真は大きくなどメリハリがついていて目線の優先順位が付き、見やすい。詳細なキャプションも取材のたまものだと感じる。